

◆各自治体で船員も対象に新型コロナワクチン優先接種

愛媛県今治市 ・ 兵庫県神戸市

世界的なコロナ禍の中、日本では全国の各自治体において、新型コロナワクチン接種が始まり、高齢者や医療関係従事者を中心にワクチン接種が行われている。その中で、今治市や神戸市の各自治体では、船員も新型コロナワクチン優先接種の対象となった。

愛媛県・今治市

海事都市・今治市では、7月5日に徳永繁樹今治市長が記者会見を行い、新型コロナウイルス感染症に関連し、新型コロナワクチンの優先予約対象者を拡充することについて「優先的にご予約いただく方につきましては、国が示している基礎疾患のある方、高齢者・障がい者の入所施設事業者の方に加え、保育士や幼稚園教諭の方々を対象とさせていただくことを既にお伝えしているところです。その後、本市の特性を踏まえ、多方面から検討を重ねた結果、新たに、小中学校の先生方などのほか、バスやタクシーなど地域公共交通を担う乗務員の方及び外航船の乗組員の方を優先予約等の対象に追加させていただくことにしました」として、船員も新型コロナワクチン優先接種の対象となることを明らかにした。

兵庫県・神戸市

神戸市では新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るため、一定の職種についてワクチンの優先接種を実施し、6月30日付で、その対象拡大を行うとし、公共交通機関（鉄道・バス・タクシー）に勤務する者を対象とする旨が明らかにされたが、海上の公共交通機関を担う船員は含まれていなかった。

このため関西地方支部では、公共交通機関の一翼を担っている船員も同様に扱うべきであると、神戸旅客船協会と関係先に働きかけを行うことを確認した。また、本組合の政治参与である大井敏弘神戸市議会議員と連携のもと、速やかに神戸市に対し働きかけを行うこととし、神戸市に要請を行った結果、船員も今回の優先接種の対象職種に含まれることとなった。

「海員だより」